

小学校

s 3-10

時刻と時間

(計算)

3学年

【ねらい】

時間について理解する。

【特徴】

- ◇ 時計の針が動くので、時間の移り変わりを視覚的に捉えさせることができます。
- ◇ 区切り毎に時間の経過を表示します。

【関連する単元】

▶ 時間を求める

▶ 時こくを求める

【活用場面】 導入段階の課題提示・算数的活動の後の検証



時間についての量感を豊かにします

分針を動かして時間の経過を見せるとき、分針が12のところまで一度止まり、区切り毎に時間の経過を確認出来るため、時間についての計算技能を一層定着させることができます。

- ◇ 課題の出発時間と到着時間を、デジタル表示し、その経過時間を簡単に求める方法を考えさせます。
- ◇ 出発時間と到着時間を表示した画面を見せると同時に画面と同じプリントを配布し、書き込みながら考えさせます。
- ◇ 練り上げの後、実際に画像を動かして確認を行います。



一定時刻の前後の時刻の理解を図り、より一層の計算技能の定着を図ります

分針を動かして時間の経過を見せるとき、分針が12に来るたびに途中経過を確認することができるため、一定時刻の前後の時刻を求める計算技能をより一層の定着させることができます。

- ◇ 時刻をデジタル表示し、何分前(後)の時刻を求めるかを課題として児童に与え、見通しを立てさせます。
- ◇ 練り上げの後、分針が12にきたときなど、区切れ目で移動量と時間を考えさせます。
- ◇ 最初に提示した移動時間を針の動きとともに確認し、数による計算の方法を考えます。

※数直線を活用して考ええるときは、時計の針のどの動きを表しているのかを確実に理解させることも大切なポイントです。